

3月9日（月）お母さん

みなさんは自分の親を何と呼んでいますか。「お父さん、お母さん」ですか、それとも「パパ、ママ」ですか。



さて、「お父さん、お母さん」という言葉がどうやってできたか、知っていますか。

この言葉は、今から150年くらい前、明治時代にできました。

日本全国に学校を作って、子供たちに勉強をさせることになりました。勉強するための教科書を作る時、親の呼び方をどうやって書くかを決めたそうです。

それまでは、子供たちは「おとっつあん」「ちゃん」、「おかさま」「おっかさん」と、自分の親を呼んでいたようです。それを教科書に載せるわけにはいかないと、当時の役人さんたちが考えたのが「お父さん」「お母さん」だったのです。

今では誰もが普通に「お父さん」「お母さん」と呼んでいますが、この言い方に慣れるには時間がかかったということです。